

学校法人会計について

学校法人の目的は、学校を運営して教育・研究等の諸活動を遂行することであり、営利や利潤の追求を目的とする企業会計とはその性質が異なります。

企業会計では、売上と費用から利益を明らかにすることが求められていますが、学校会計では、収入をいかに効率的にかつ適切に教育・研究等の諸活動に充当したかを明らかにすることが求められています。

学校法人の目的もさることながら、学校法人の収入のほとんどが、学生生徒等納付金や国や地方公共団体などからの補助金等で成り立っていることから、在学生や保護者をはじめ

ステークホルダーに対し、財務状況および財政状態を開示、説明する必要があります。

このため、学校法人は、「学校法人会計基準」に基づき会計処理を行い、財務計算に関する書類（「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」）を作成することが義務付けられています。

2023年度決算について

財産目録

2024年3月31日

財産目録は2023年度末における本学の財産と債務を記載した目録です。2023年度の資産総額は280億1千万円、負債総額は19億3千万円で正味財産は260億8千万円となっています。

(単位：千円)

区 分				金 額
資産額	基本財産	土 地	121,287.02㎡	4,668,617
		建 物	92,624.66㎡	12,755,747
		機器備品	17,427点	655,427
		図 書	490,658冊	2,418,831
		車 輛		728
		その他		21,341
	運用財産	現金預金		6,452,401
		特定資産		433,200
		有価証券		299,939
		その他		310,829
	資産総額			28,017,063
負債額	固定負債	長期借入金	0	
		退職給与引当金	880,828	
		その他	5,822	
	流動負債	短期借入金	0	
		その他	1,046,375	
		負債総額	1,933,026	
正味財産(資産総額 - 負債総額)				26,084,036

※百円の位を切り捨てし、千円単位で表記

貸借対照表

2024年3月31日

貸借対照表は、学校法人の年度末の財政状態を表します。
資産の部は、学校法人の所有する財産を示し、負債および純資産の部は、財産の調達財源を示します。本学の2023年度末の資産規模は280億1千万円で、前年度より2億5千万円の増加となりました。

(主要な増減科目)

●「有形固定資産」は、見和キャンパス新B棟および高等学校硬式野球屋内練習場の竣工により増加しています。

●「特定資産」は、見和キャンパスA・B棟改築計画に基づき、第2号基本金引当特定資産の取崩しを実施したことにより減少しています。
●「その他の固定資産」は、有価証券を新規購入したことにより増加しています。

(単位：千円)				
区 分		2023年度末	2022年度末	増 減
 有形固定資産 1年を超えて使用される資産で、土地、建物、構築物、教育研究用・管理用機器備品、図書、車輛など	《資産の部》			
	固定資産	21,253,832	20,775,315	478,517
	有形固定資産	20,499,352	19,427,386	1,071,965
	土地	4,668,617	4,668,617	0
	建物	12,160,617	10,789,773	1,370,844
	構築物	595,129	636,631	△ 41,502
	教育研究用機器備品	640,268	431,582	208,685
	管理用機器備品	15,159	13,678	1,480
	図書	2,418,831	2,401,190	17,640
	車輛	728	1,094	△ 365
 その他の固定資産 借地権、電話加入権、施設利用権、長期に保有する有価証券、基本金引当資産など	建設仮勘定	0	484,817	△ 484,817
	特定資産	433,200	1,126,395	△ 693,195
	第2号基本金引当特定資産	432,000	1,125,195	△ 693,195
	第3号基本金引当特定資産	1,200	1,200	0
	その他の固定資産	321,280	221,533	99,746
	借地権	15,562	15,562	0
	電話加入権	5,017	5,017	0
	施設利用権	761	1,014	△ 253
	有価証券	299,939	199,939	100,000
	流動資産	6,763,230	6,989,308	△ 226,078
 流動資産 現金預金、未収入金、前払金など	現金預金	6,452,401	6,633,542	△ 181,141
	未収入金	291,404	337,580	△ 46,175
	貯蔵品	248	388	△ 140
	立替金	19	0	19
	前払金	19,156	17,797	1,359
	資産の部合計	28,017,063	27,764,624	252,438
	《負債の部》			
	固定負債	886,650	832,710	53,940
	退職給与引当金	880,828	832,710	48,117
	退職金財団預り金	5,822	0	5,822
 固定負債 退職給与引当金、学校債(発行している場合)など	流動負債	1,046,375	832,524	213,850
	未払金	263,667	60,894	202,773
	前受金	762,187	749,990	12,197
	預り金	20,520	21,640	△ 1,119
	負債の部合計	1,933,026	1,665,235	267,791
	《純資産の部》			
	基本金	38,083,384	37,657,723	425,660
	第1号基本金	37,266,658	36,147,803	1,118,855
	第2号基本金	432,000	1,125,195	△ 693,195
	第3号基本金	1,200	1,200	0
 基本金 ■第1号基本金 学校法人が設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるものの価額または新たな学校の設置もしくは既設の学校の規模の拡大もしくは教育の充実向上のために取得した固定資産の価額 ■第2号基本金 学校法人が新たな学校の設置または既設の学校の規模の拡大もしくは教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てる金銭その他の資産の額 ■第3号基本金 基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額 ■第4号基本金 恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣の定める額	第4号基本金	383,525	383,525	0
	繰越収支差額	△ 11,999,347	△ 11,558,334	△ 441,012
	翌年度繰越収支差額	△ 11,999,347	△ 11,558,334	△ 441,012
	純資産の部合計	26,084,036	26,099,388	△ 15,352
	負債及び純資産の部合計	28,017,063	27,764,624	252,438

※百円の位を切り捨てし、千円単位で表記

2023年度決算について

資金収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

資金収支計算書は、学校法人の1年間の活動に対応する収入と支出の内容と支払資金の顚末を表します。2023年度の資金収支規模は、139億5千万円となり、主な収入項目としては学生生徒等納付金収入45億3千万円、補助金収入12億8千万円、前受金収入7億6千万円などがあり、支出項目とし

ては人件費支出35億8千万円、教育研究経費支出15億9千万円、管理経費支出3億9千万円 などがあります。翌年度への繰越資金は、前年度より1億8千万円減少し、64億5千万円となりました。

収入の部		(単位：千円)		
科 目	2023年度予算	2023年度決算	差 異	
学生生徒等納付金収入	4,594,792	4,530,179	64,612	学生生徒等納付金収入 授業料、入学金、実験実習費、施設拡充費など
手数料収入	94,047	88,531	5,515	
寄付金収入	9,340	11,458	△ 2,118	
補助金収入	1,223,970	1,280,901	△ 56,931	
(国庫補助金収入)	566,082	595,960	△ 29,878	
(地方公共団体補助金収入)	519,897	535,405	△ 15,508	
(施設型給付費収入)	137,991	149,535	△ 11,544	
資産売却収入	0	340	△ 340	
付随事業・収益事業収入	100,444	69,680	30,763	
受取利息・配当金収入	4,871	6,403	△ 1,532	
雑収入	184,757	226,376	△ 41,619	
借入金等収入	0	0	0	
小 計	6,212,221	6,213,872	△ 1,651	
前受金収入	749,990	762,187	△ 12,197	前受金収入 翌年度の学生生徒等に係る授業料、入学金、実験実習費、施設拡充費など
その他の収入	1,362,775	1,389,118	△ 26,343	
資金収入調整勘定	△ 963,985	1,046,904	82,919	
前年度繰越支払資金	6,633,542	6,633,542		前年度繰越支払資金 前年度末時点での現預金の残高
収入の部合計	13,994,543	13,951,815	42,727	

支出の部		(単位：千円)		
科 目	2023年度予算	2023年度決算	差 異	
人件費 給与支出	3,519,260	3,374,705	144,554	管理経費支出 教育研究以外の活動のために支出する経費
退職金支出	163,862	208,730	△ 44,868	
教育研究経費支出	1,742,161	1,597,613	144,547	教育研究経費支出 教育研究活動のために支出する経費（学生生徒等を募集するために支出する経費を除く）
管理経費支出	461,993	399,456	62,536	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	1,380,257	1,380,476	△ 219	施設関係支出 土地、建物、構築物、建設仮勘定（建物および構築物が完成するまでの支出）など
設備関係支出	359,232	286,186	73,045	設備関係支出 教育研究用・管理用機器備品、図書、車輛など
小 計	7,626,765	7,247,168	379,596	
資産運用支出	432,000	432,000	0	
その他の支出	82,629	101,711	△ 19,081	
〔予備費〕	(0)			
	30,000		30,000	
資金支出調整勘定	△ 231,666	△ 281,465	49,798	
翌年度繰越支払資金	6,054,815	6,452,401	△ 397,585	翌年度繰越支払資金 当該年度末時点での現預金の残高
支出の部合計	13,994,543	13,951,815	42,727	

※百円の位を切り捨てし、千円単位で表記

活動区分資金収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書を「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」の3つの活動に区分し、学校法人の活動区分ごとに資金の流れを把握するための計算書です。

		(単位：千円)	
		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	4,530,179
		手数料収入	88,531
		特別寄付金収入	5,700
		経常費等補助金収入	1,267,585
		付随事業収入	69,680
	支出	雑収入	226,376
		教育活動資金収入計	6,188,054
		人件費支出	3,583,435
		教育研究経費支出	1,597,613
		管理経費支出	399,456
施設整備等活動による資金収支	収入	教育活動資金支出計	5,580,505
		差引	607,548
		調整勘定等	264,719
		教育活動資金収支差額	872,268
	支出	施設設備寄付金収入	5,758
		施設設備補助金収入	13,316
		施設設備売却収入	340
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	1,025,195
		施設整備等活動資金収入計	1,044,609
その他の活動による資金収支	収入	施設関係支出	1,380,476
		設備関係支出	286,186
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	332,000
		施設整備等活動資金支出計	1,998,662
	支出	差引	△ 954,053
		調整勘定等	△ 11,389
		施設整備等活動資金収支差額	△ 965,442
		小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	△ 93,174
	その他の活動による資金収支	預り金受入収入	26,343
		受取利息・配当金収入	6,403
		その他の活動資金収入計	32,746
		有価証券購入支出	100,000
		立替金支払支出	19
資金収支	収入	預り金支払支出	21,640
		その他の活動資金支出計	121,660
	支出	差引	△ 88,913
		調整勘定等	947
		その他の活動資金収支差額	△ 87,966
	その他の活動による資金収支	支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	△ 181,141
		前年度繰越支払資金	6,633,542
		翌年度繰越支払資金	6,452,401

※百円の位を切り捨てし、千円単位で表記

教育活動資金収支差額
教育活動資金収支では、本業である教育活動のキャッシュベースでの収支状況を見ることができます。「教育活動」でどのくらいキャッシュを生み出せるかが重要となります。

施設整備等活動資金収支差額
施設整備等活動資金収支では、当該年度に施設設備への支出がどれだけあり、財源がどうであったかを見ることができます。

その他の活動資金収支差額
その他の活動による資金収支では、借入金の収支、資金運用の状況など、主に財務活動を見ることができます。

各種比率等一覧

【経営の状況】 事業活動収支計算書関係比率（法人全体）

算 式（＊100）			0%	50%	100%
人件費比率 人件費総額の経常収入に占める割合を示す。	人件費	2021年度		55.5%	
	経常収入	2022年度		55.8%	
		2023年度		58.6%	
教育研究経費比率 教育研究活動の維持・発展に関する経費の経常収入に占める割合を示す。	教育研究経費	2021年度		31.1%	
	経常収入	2022年度		32.8%	
		2023年度		34.2%	
管理経費比率 学校法人運営上必要となる経費の経常収入に占める割合を示す。	管理経費	2021年度		6.9%	
	経常収入	2022年度		6.9%	
		2023年度		7.4%	
事業活動収支差額比率（帰属収支差額比率） 事業活動収入に対する基本金組入前当年度収支差額が占める割合を示す。	基本金組入前 当年度収支差額	2021年度		6.6%	
	事業活動収入	2022年度		4.1%	
		2023年度		-0.2%	
学生生徒等納付金比率 自己財源である学生生徒等納付金の経常収入に占める割合で、 安定的に推移していることが望ましい。	学生生徒等納付金	2021年度		75.9%	
	経常収入	2022年度		73.2%	
		2023年度		73.1%	
補助金比率 国および地方公共団体からの補助金の事業活動収入に占める割合を示す。	補助金	2021年度		18.5%	
	事業活動収入	2022年度		19.2%	
		2023年度		20.6%	
基本金組入率 学校法人の諸活動に不可欠な資産の充実のためにどれだけ 基本金に組み入れたかを示す。	基本金組入額	2021年度		5.6%	
	事業活動収入	2022年度		9.2%	
		2023年度		6.8%	

【財政の状態】 貸借対照表関係比率（法人全体）

算 式（＊100）			0%	500%	1000%
純資産構成比率（自己資金構成比率） 純資産の総資産に占める割合で、財政的な経営の安定性を示す。	純資産	2021年度		93.6%	
	総負債＋純資産	2022年度		94.0%	
		2023年度		93.1%	
固定比率 固定資産取得にどの程度純資産が導入されているかの指標で、 100%以下であれば純資産で賄えていることを示す。	固定資産	2021年度		80.1%	
	純資産	2022年度		79.6%	
		2023年度		81.5%	
流動比率 短期的な支払能力を示すもので、一般的な判断基準として200%以上で あれば優良とみなされている。	流動資産	2021年度		738.9%	
	流動負債	2022年度		839.5%	
		2023年度		646.3%	
総負債比率 総資産に対する総負債の比重を示す。	総負債	2021年度		6.4%	
	総資産	2022年度		6.0%	
		2023年度		6.9%	
基本金比率 組入した基本金の比率を示し、100%に近いほど未組入がないことを示す。	基本金	2021年度		100.0%	
	基本金要組入額	2022年度		100.0%	
		2023年度		100.0%	

財務状況総括

2023年度決算における事業活動収支は、事業活動収入計が62億2千4百万円、事業活動支出計が62億3千9百万円となり、事業活動収支差額（基本金組入前当年度収支差額）は、1千5百万円の支出超過となりました。

事業活動収入の部では、大学において収容定員を超える学生を確保しましたが、法人全体の学生生徒数減少により、学生生徒等納付金が2022年度と比較して2億6千万円減少しました。しかし、経常費等補助金や資産運用による受取利息、現物寄付等、納付金以外の収入拡大により事業活動収入全体では予算額から1千2百万円の増収となりました。

事業活動支出の部では、見和キャンパス新B棟建築工事や高等学校硬式野球屋内練習場建築工事等の教育環境整備、また、法人全体としての事務基幹システム更新や高等学校校務系ネットワークシステム更新等に多額の経費を投入しました。しかし、主要支出項目である人件費や教育研究経費、管理経費が予算額

を下回り、事業活動支出全体では予算額から3億7千万円の支出減となりました。

予算対比で事業活動収支差額の改善が図れましたが、決算における均衡状況は5年ぶりに支出超過となり、収支均衡化に向けて適正な予算配分や執行管理など課題を残す結果となりました。ただし、本学はここ20年以上借入金なしでの経営を継続しており、総体的な財務比率において総負債比率6.9%、短期的支払能力を示す流動比率646%、経営の安定性を示す純資産構成比率93.1%のとおり、健全な経営が行われていると言えます。

今後も安定した財務基盤を維持するためには、学生生徒等の安定的な確保や更なる支出の適正管理が必須となります。「TOKIWA VISION 2028」に掲げた新たな中期計画を力強く推進するとともに、中期財務計画の点検・見直しを継続しながら、施設設備の計画的な整備と教育環境の充実に向けて取り組み、収支バランスが確保された適切な財務運営に努めてまいります。

2023年度決算について

事業活動収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

事業活動収支計算書は、学校法人の1年間における諸活動（「教育活動」「教育活動以外の経常的な活動」「前記以外の活動」）に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容と

これらの均衡の状態を表します。2023年度の事業活動収入は62億2千万円、事業活動支出は62億3千万円で、基本金組入前当年度収支差額は1千5百万円の支出超過となりました。

（単位：千円）

科 目			2023年度予算	2023年度決算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	4,594,792	4,530,179	64,612
		手数料	94,047	88,531	5,515
		寄付金	4,340	5,700	△ 1,360
		経常費等補助金	1,211,041	1,267,585	△ 56,544
		（国庫補助金）	566,082	595,294	△ 29,212
		（地方公共団体補助金）	506,968	522,755	△ 15,787
		（施設型給付費）	137,991	149,535	△ 11,544
		付随事業収入	100,444	69,680	30,763
		雑収入	184,757	226,376	△ 41,619
	教育活動収入計	6,189,421	6,188,054	1,366	
	事業活動支出の部	人件費 給与	3,519,260	3,374,705	144,554
		退職金等	255,052	256,848	△ 1,796
		教育研究経費	2,264,711	2,119,215	145,495
		（減価償却額）	522,550	521,641	908
		管理経費	521,897	456,754	65,142
		（減価償却額）	59,904	57,117	2,786
徴収不能額等		0	5,510	△ 5,510	
教育活動支出計		6,560,920	6,213,033	347,886	
教育活動収支差額		△ 371,499	△ 24,978	△ 346,520	
教育活動外収支	事業収入の活動部	受取利息・配当金	4,871	6,403	△ 1,532
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	4,871	6,403	△ 1,532
	事業支出の活動部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額		4,871	6,403	△ 1,532
経常収支差額		△ 366,628	△ 18,575	△ 348,052	
特別収支	事業収入の活動部	資産売却差額	0	340	△ 340
		その他の特別収入	17,929	29,791	△ 11,862
		（施設設備寄付金）	5,000	5,758	△ 758
		（施設設備補助金）	12,929	13,316	△ 387
		特別収入計	17,929	30,131	△ 12,202
	事業支出の活動部	資産処分差額	19,269	26,908	△ 7,639
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	19,269	26,908	△ 7,639
特別収支差額		△ 1,340	3,223	△ 4,563	
〔予備費〕		(0)			
		30,000		30,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 397,968	△ 15,352	△ 382,615	
基本金組入額合計		△ 1,623,144	△ 425,660	△ 1,197,483	
当年度収支差額		△ 2,021,112	△ 441,012	△ 1,580,099	
前年度繰越収支差額		△ 11,939,411	△ 11,558,334	△ 381,076	
基本金取崩額		1,150,640	0	1,150,640	
翌年度繰越収支差額		△ 12,809,883	△ 11,999,347	△ 810,536	
（ 参考 ）					
事業活動収入計		6,212,221	6,224,589	△ 12,368	
事業活動支出計		6,610,189	6,239,942	370,246	

※百円の位を切り捨てし、千円単位で表記

教育活動収支差額

教育活動収支では、経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支状況を見ることができます。

教育活動外収支差額

教育活動外収支では、経常的な収支のうち、財務活動による収支状況を見ることができます。

経常収支差額

経常収支差額では、経常的な収支のバランスを見ることができます。

特別収支差額

特別収支では、資産売却や処分等の臨時的な収支を見ることができます。

基本金組入前
当年度収支差額

基本金組入前当年度収支差額では、当年度の事業活動全体の収支バランスを見ることができます。

当年度収支差額

当年度収支差額は、基本金組入額合計控除後の収支差額であり、従来の消費収支差額に相当します。